

(小学校1～3年生用)

ひとり いちだい

1人1台たんまつを

つか  
使うときのきまり

クロームブックは、いろいろなことをしらべたり、  
みんなの かんがえをつたえたりするための

「たいせつな ぶんぼうぐ」です。

みんなが たのしく べんきょうできるように、

ひとり いち  
一人に 一だいずつ かしています。

ながく、だいじに つかい続けるために、つぎの やくそくを まもりましょう

令和8年1月





## だいじにつかう プロになろう

- 「かりているもの」だよ

べんきょうのために かしているものです。  
あなただけのものではありません。  
いつも だいじにつかいましょう。

- <sup>て</sup>手やつくえを <sup>て</sup>きれいにしてから <sup>て</sup>つかおう

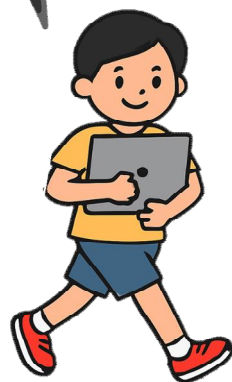
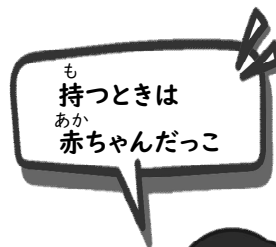
<sup>て</sup>手をきれいに あらい、  
<sup>うえ</sup>つくえの <sup>うえ</sup>上を かたづけてから <sup>て</sup>つかいます。  
<sup>た</sup>食べものや <sup>の</sup>飲みものを <sup>ちか</sup>近くにおきません。

- 「ゆっくり・ていねい」に

がめんを たいたり、ふりまわしたりしません。  
うえにものをおきません。ペンも だいじな <sup>どうぐ</sup>道具です。  
やさしく <sup>て</sup>つかいましょう。

- 「おとさない!」をやくそくしよう

<sup>がっこう</sup>学校の中 <sup>なか</sup>では <sup>こぶ</sup>こぶときは、<sup>て</sup>りょう手 <sup>て</sup>で しっかり <sup>て</sup>かかえるか、ケースに いれます。



## <sup>けんこう</sup>からだの <sup>じかん</sup>健康と 時間を まもろう

- よい <sup>つか</sup>しせいで使う

つくえや テーブルの上 <sup>て</sup>において <sup>て</sup>つかいましょう。  
<sup>め</sup>がめんと <sup>め</sup>目は30センチ(ひじから <sup>てくび</sup>手首くらい)  
<sup>より</sup>も <sup>はな</sup>はなします。

- <sup>め</sup>目を <sup>め</sup>やすめながら <sup>つか</sup>使おう

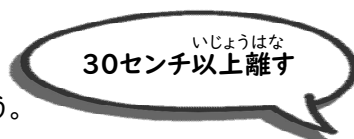
20分 <sup>ふん</sup> <sup>つか</sup>つかったら、<sup>み</sup>と <sup>め</sup>おくを見て <sup>め</sup>目を <sup>め</sup>やすませましょう。

- <sup>つか</sup>かってに <sup>つか</sup>使いません

<sup>せんせい</sup>先生の <sup>しじ</sup>指示 <sup>しじ</sup>があるときだけ <sup>め</sup>がめんと <sup>め</sup>ひらきます。  
<sup>つか</sup>つかわないときは <sup>め</sup>がめんと <sup>め</sup>とじるか、  
<sup>せんせい</sup>先生 <sup>ほう</sup>の方 <sup>む</sup>むに <sup>め</sup>向けて、<sup>め</sup>じゅぎょう <sup>め</sup>を <sup>め</sup>ききましょう。

- <sup>まえ</sup>ねる <sup>まえ</sup>前は <sup>やす</sup>おやすみ

<sup>いえ</sup>家で <sup>つか</sup>つかうときは <sup>あたま</sup>頭 <sup>やす</sup>を <sup>やす</sup>休ませるために、<sup>じかん</sup>ねる <sup>まえ</sup>1時間前 <sup>まえ</sup>には <sup>め</sup>おわりに <sup>め</sup>しましょう。





じぶん

とも

## 自分と 友だちの「あんしん」を まもろう

### ● パスワードは「おうちのかぎ」

パスワードをおしえるのは、家の<sup>いえ</sup>かぎをわたすのとおなじです。  
友だちにも<sup>とも</sup>ぜったいにおしえません。

### ● アカウントはべんきょうのためだけのもの

せんせいからもらう「なまえ」や「あいことば」は、学校<sup>がっこう</sup>の外では<sup>そと</sup>つかいません。

### ● しゃしんや どうかの おやくそく

カメラをつかうときは、かならず<sup>あいて</sup>相手に「とってもいい?」ときいて、  
いいよと言われてから<sup>い</sup>とりましょう。

### ● じぶんの ことを かかない・のせない

なまえや<sup>いえ</sup>家の<sup>かお</sup>ばしょ、顔などは、インターネットにのせると<sup>け</sup>ぜったいに消せません。  
せんせい<sup>せんせい</sup>先生に<sup>にゆうりよく</sup>きかないで<sup>ことば</sup>入力してはいけません。

### ● やさしい言葉で つたえよう

がめんの<sup>ひと</sup>むこうには<sup>ひと</sup>人がいます。  
友だちが<sup>とも</sup>いやがることや<sup>か</sup>かなしくなることは<sup>か</sup>ぜったいに<sup>か</sup>書きません。



## もってかえるときの おやくそく

### ● ランドセルから ださない

とうげこうではケースにいれてから  
ランドセルに<sup>て</sup>いれます。手でもってかえったり、  
かえるとちゅうで<sup>て</sup>だしたりしてはいけません。

### ● 家の人と お話しよう

「どこで」「いつまで」つかうか、  
家の人と<sup>いえ</sup>きめて<sup>ひと</sup>つかいましょう。  
できるだけ<sup>いえ</sup>家の人<sup>ひと</sup>が見えるところで<sup>み</sup>つかいます。

### ● おく ばしょを きめよう

ゆかに<sup>うえ</sup>おくと、ふんで<sup>うえ</sup>こわれてしまいます。  
かならずつくえの上など、きめられた<sup>うえ</sup>ばしょに<sup>うえ</sup>おきましょう。

### ● 家の外にもってでるとき

家の外で<sup>いえ</sup>つかうときは、家の人<sup>ひと</sup>に<sup>いえ</sup>きいてから、  
学校<sup>がっこう</sup>に<sup>がっこう</sup>いるときとおなじように<sup>がっこう</sup>たいせつにつかいましょう。

ケースにいれる

ランドセルの  
まんなかにいれる



## 5 あんぜんにつかうために(だいじな おやくそく)

- わからないところはさわらない

がめんには たくさんの ボタンが できます。

さわってはいけないものもあるので わからないところは さわらないようにしましょう。

- 「おかしいな？」と <sup>おも</sup>思ったら <sup>おも</sup>すぐ <sup>で</sup>ほうこく

こわれたかな？と <sup>おも</sup>思ったり、へんな がめんが <sup>で</sup>出たりしたときは、

すぐに <sup>せんせい いえ ひと はな</sup>先生や 家の人に 話してください。

- やくそくを まもろう

この「きまり」が まもれないときは、

クロームブックを <sup>つかえ</sup>なくなることが <sup>あ</sup>ります。



## 6 みんなに していて ほしいこと

- みんなの じょうほうの まもりかた

べんきょうで <sup>はい</sup>つかうために、みんなの なまえが <sup>はい</sup>入っていたり、  
じぶんで いれたりしますが、ほかでは <sup>つか</sup>いません。

- あぶない <sup>かた</sup>つかい方を <sup>かた</sup>しないようにしよう

みんなが <sup>おも</sup>こわい <sup>おも</sup>思いを <sup>み</sup>しないように、<sup>み</sup>見ることができるページと <sup>み</sup>できないページ  
を <sup>かた</sup>わけたり、<sup>かた</sup>つかい方の <sup>きろく</sup>記録を <sup>かた</sup>とったりしています。

「だれも <sup>み</sup>見ていないから いいや」と、べんきょうに <sup>かた</sup>かんけいのない <sup>かた</sup>つかい方を  
しては <sup>い</sup>けません。<sup>かた</sup>つかい方の <sup>きろく</sup>記録は <sup>かた</sup>みんなを <sup>かた</sup>まもるためだけに <sup>かた</sup>つかいます。

ほかの人に <sup>み</sup>見せたりは <sup>あんしん</sup>しないので <sup>あんしん</sup>安心して <sup>あんしん</sup>ください。

